

ポーラ、日本初※¹「真皮コラーゲン密度を維持することで、 肌の健康に役立つ」の届出表示で受理 機能性表示として「真皮」を含んだ日本初の事例 ー「リンクルショット」のインナーケアとして、2027年中の発売を予定ー

株式会社ポーラ（本社：東京都品川区、代表取締役社長：小林 琢磨）は、真皮コラーゲン密度を維持することで肌の健康に役立つことが報告されている機能性関与成分「オーランチオキトリウム由来ペンタデカン酸」を配合した機能性表示食品の届出が、2026年10月5日に受理されたことをお知らせします。肌の健康に関する機能性表示食品の届出が数多く行われるなか、「真皮」を機能性表示に含む届出が受理されたのは、今回が初めてです。また、本届出は、機能性関与成分「オーランチオキトリウム由来ペンタデカン酸」と「リコペロサイドH」の組み合わせとしても日本初※²となります。

これらの知見を搭載した製品は、「リンクルショット」のインナーケアとして、2027年中の発売を予定しています。

※¹：機能性表示に「真皮コラーゲン密度を維持する」が含まれる機能性表示食品として（消費者庁 機能性表示食品検索に基づく/2026年10月時点）

※²：消費者庁 機能性表示食品検索に基づく/2026年10月時点

ーポイントー

①**真皮コラーゲン密度を維持することで肌の健康に役立つことが報告されている機能性関与成分「オーランチオキトリウム由来ペンタデカン酸」を配合した機能性表示食品の届出が受理**

- 「真皮」が機能性表示に入った日本初の事例

②**「オーランチオキトリウム由来ペンタデカン酸」と「リコペロサイドH」との組み合わせによるダブル関与成分としても日本初受理**

- 「リコペロサイドH」は、肌の弾力を維持することで、肌の健康に役立つことが報告されている

ー機能性表示食品の届出内容ー

届出番号：L431

届出表示：

- ・本品には、オーランチオキトリウム由来ペンタデカン酸が含まれます。
オーランチオキトリウム由来ペンタデカン酸には、真皮コラーゲン密度を維持すること、肌の弾力を維持すること、肌の保湿力を高めることで、肌の健康に役立つことが報告されています。

- ・本品には、リコペロサイドHが含まれます。

リコペロサイドHには、肌の弾力を維持することで、肌の健康に役立つことが報告されています。

機能性関与成分：

- ・オーランチオキトリウム由来ペンタデカン酸 9.15mg
- ・リコペロサイドH 1mg

公開日：2026年10月5日

【報道関係からのお問い合わせ先】

株式会社 ポーラ ブランドコミュニケーション部 〒141-8523 品川区西五反田2-2-3
TEL：03-3494-7119 FAX：03-3494-6198

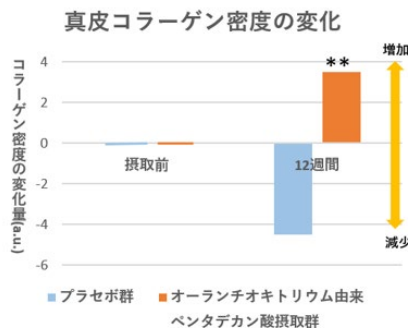
【お客さまからのお問い合わせ先】

ポーラお客さま相談室（フリーダイヤル）TEL 0120-117111

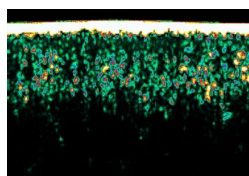
【オーランチオキトリウム由来ペンタデカン酸の研究報告】

■真皮コラーゲン密度の維持

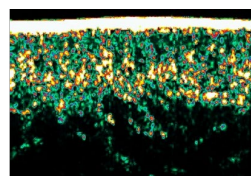
オーランチオキトリウム由来ペンタデカン酸を12週間摂取することで、摂取しないプラセボ群と比較して、真皮コラーゲン密度が高まることが科学的根拠として報告されています。



ヒト飲用試験における真皮コラーゲン密度の測定例



真皮コラーゲン密度が低い例



真皮コラーゲン密度が高い例

超音波画像撮影による真皮層のコラーゲン密度測定
黄>赤>緑>黒の順で、コラーゲン密度が高い

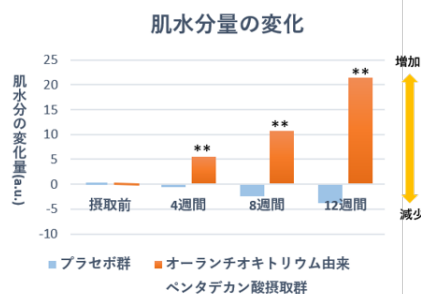
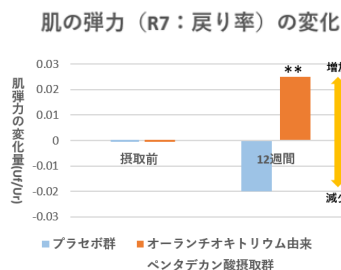
プラセボ群：25名(女性、50.1 ± 5.1歳)、オーランチオキトリウム由来ペンタデカン酸摂取群：24名(女性、51.9 ± 2.4歳)
プラセボ群に対して有意差あり：** (p < 0.01)
出典：診療と新薬 2023;60:459-470 よりボラ作成

オーランチオキトリウム由来ペンタデカン酸の飲用試験
出典：薬理と治療 2023;51,4:505-520

◆製品を用いた臨床試験ではありません。
システマティックレビューの対象となった論文のうち、代表的な1報を事例として提示しています。

■肌の弾力と保水力が向上

また、オーランチオキトリウム由来ペンタデカン酸を12週間摂取することで、摂取しないプラセボ群と比較して、肌の弾力(R7:戻り率)と保水力が高まることが、科学的根拠として報告されています。



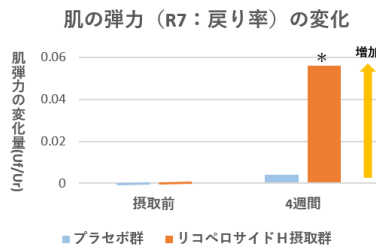
プラセボ群：25名(女性、50.1 ± 5.1歳)、オーランチオキトリウム由来ペンタデカン酸摂取群：24名(女性、51.9 ± 2.4歳)
プラセボ群に対して有意差あり：** (p < 0.01)
出典：診療と新薬 2023;60:459-470 よりボラ作成

◆製品を用いた臨床試験ではありません。
システマティックレビューの対象となった論文のうち、代表的な1報を事例として提示しています。

【リコペロサイドHの研究報告】

■肌の弾力が向上

リコペロサイドHを4週間摂取することで、摂取しないプラセボ群と比較して、肌の弾力(R7:戻り率)が増加することが、科学的根拠として報告されています。



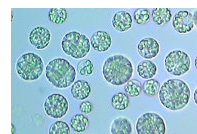
プラセボ群：22名(女性、51.2 ± 10.0歳)、
リコペロサイドH摂取群：21名(女性、52.0 ± 9.2歳)
プラセボ群に対して有意差あり：* (p < 0.05)

出典：J. Cosmetics, Dermatological Science and Applications, 2021;11:217-236 よりボラ作成

◆製品を用いた臨床試験ではありません。
システマティックレビューの対象となった論文のうち、代表的な1報を事例として提示しています。

■オーランチオキトリウム由来ペンタデカン酸

オーランチオキトリウム由来ペンタデカン酸は、微細藻類オーランチオキトリウムに含まれる成分です。細胞の小胞体ストレスを緩和し、ミトコンドリアの機能低下を防ぐことで、肌のコラーゲン産生を維持する作用、角層のバリア機能を促進して保湿力を高める作用が報告されています。



藻類(オーランチオキトリウム)

■リコペロサイドH

リコペロサイドHは、トマト種子に含まれる成分です。ヒト好中球エラスターゼ活性を抑制することで肌のコラーゲン分解を抑制し、肌のコラーゲン産生を維持する作用が報告されています。



トマト種子